

第8回 島田療育センターはちおうじ セミナー

「ネット・ゲーム依存の現状と対応」

講師：樋口 進氏（久里浜医療センター 院長）



皆さんはネットやゲームをやりますか？

私はファミコン世代なので小学生の頃はゲームに没頭していました。が、飽きっぽい性格が幸いしたのか今はほとんどやりません。ところが、ネットに関しては数年前にスマホを手にしてから、暇になるとついついどーでもいような芸能ニュースを見たりします。充電切れが心配でモバイルバッテリーも購入してしまいました。

それはさておき、依存症の方は「Q.どうしてやめられないのでしょうか？」。

厚労省のHPを見るとその回答がありました。「A. コントロール障害（自分の意思でやめられない病気）になってしまっているからです。人は誰しも、不安や緊張を和らげたり、嫌なことを忘れたりするために、ある特定の行為をすることがありますが、それを繰り返しているうちに脳の回

路が変化して、自分の意思ではやめられない状態になってしまうことがあります。これが、依存症という病気です。周囲がいくら責めても、本人がいくら反省や後悔をしても、また繰り返してしまうのは脳の問題なのです。決して「根性がない」とか「意志が弱いから」ではありません。依存症は、条件さえ揃えば、誰でもなる可能性があり、特別な人だけになるわけではないのです。依存症は特定の行為を自分の意思でやめたり、減らしたりできない病気です。」とのことでした。

樋口先生の講演では、改善のために①「周囲からの制限は無効」、②「本人に動きださせる」を原則とし、他の活動時間を増やしネットやゲームの優先度を少しずつ下げるといった視点が大切になるということをお伝えしました。

自分で考えて行動する。その尊さを改めて考えさせられました。

最後になりましたが、勤労感謝の日に約200名もの方々にお越し頂き、無事に開催出来たことを実行委員一同心より御礼申し上げます。

【福祉相談科 工藤 忠幸】



左：講師：樋口 進氏（久里浜医療センター 院長）
右：島田療育センターはちおうじ 小沢所長





ベトナム研修

今回私はSVCA（ベトナムの子ども達を支援する会）が企画するベトナム交流ツアーに参加させていただきました。自分は村訪問班で3日間研修し、障がい児のいるご家庭を訪ねて、家族の困り感を聞き、養育についての悩みを聞いて回りました。それぞれのご家庭で悩みなどを聞く中で、SVCAメンバーはもちろん、現地の理学療法士や障がい児学校の先生が親身に相談に乗る姿を見て、ベトナムの人と人とのつながりの強さを感じることができました。研修の時間以外でも、ベトナム料理に舌鼓を打ち、現地の素敵な方々とも良い時間を過ごさせていただきました。これからの自分にたくさんの栄養をくれたベトナム研修、貴重で刺激的な日々をありがとうございました。

【通所科 児玉 裕】



からふる報告

『学習障害について学ぶ』

島田療育センターはちおうじの外来には、文字の読み書きや計算など、基礎的な学習の困難を抱えやすいことを主な症状とする『学習障害』があるお子様が多く来所されています。当センターでは基礎的な学習の評価や部分的な指導を行うことはありますが、学習は毎日学校で行われるものであり、学校の先生方と連携をしながら支援の方法について検討していく必要があります。そこで、学習障害があるお子様に対する理解や支援の輪を広げることを目的に、3回シリーズの講習会を企画し、1、2回目の講習会が実施されました。

1回目は昨年11月15日、2回目は2月7日に行われ、それぞれ31名、22名の教員の方々にご参加いただきました。1回目は“読み書き計算に困難のあるお子様への評価について”ということで、医師による学習障害に関する講義の後、当センターで行っている評価・検査について講義を行いました。2回目は“読み書きの遅れがある児への評価・指導について”ということで、具体的な事例を挙げながらどのように評価するか、どんな指導が効果的かの講義を行いました。

参加された先生方は皆さん非常に熱心で、「もっと詳しく知りたい」「次回も参加したい」などのお声を頂いており、3回目は3月27日に開催予定でしたが、感染症対策で中止とさせていただきます。この先の予定はまだ決められない状況ですが、新しい企画について検討しております。



【リハビリテーション科 公認心理師 神田 聡】



通所

もちつき交流会

12月26日に地域の少年野球チーム、アストロジャガーズ選手の皆さんと交流もちつきを行いました。通所の利用者様とアストロジャガーズの選手の皆さん、外来の利用者様と一緒に「よいしょ～、よいしょ～！」の大きなかけ声とともに蒸し上がったもち米を杵でつきあげました。つきあがったお餅は鏡餅として所内に飾り無事にお正月の準備が整いました。令和2年12月、また皆さんと一緒に元気にお餅をつきたいと思

います。

【通所科 實方 智保】



『八王子市障害者文化展』に出展して

今年は立体作品の「しまはち天狗」を出品しました。期待した賞は獲れず、残念な気持ちで会場に出掛けると、天狗が入場者を歓迎するかのよう



う。それだけで嬉しくなりました。もう一つ、いい話。「しまはち天狗」を表紙にしたカレンダーを1階の売店で販売していましたが、それを見たお子さんが「あっ、文化展で見た天狗だよ」と気づいてお話ししていたと聞きました。賞は獲れなくても、見た人の記憶に残る作品が作れたことを嬉しく思いました。



【相談支援室 室長 箱崎 一隆】

成人を祝う会

1月10日(金)に通所成人を祝う会を行いました。令和初の祝う会では、男性3名・女性1名の方が成人を迎えられました。みなさんスーツや晴れ着を着て、多くの方から祝福を頂き、晴れやかな表情がとても印象的でした。また、ご家族からの心温まるメッセージには、たくさんの想いが込められており、心に沁みました。

午後のお楽しみイベントでは、拓殖大学チアリーディング部の学生の方々からダンスやお祝いのエールを送って頂き、参加頂いた皆様と学生が一体となり盛り上がる事ができました。

【通所科 上利 友里恵】



八王子市立第七小学校との交流

「八王子市立第七小学校との交流」を11/6、8、12の3日間で行いました。

総合学習として「障害体験」「通所利用者様との交流」「センターの仕事を知る」を目的に体験されました。オリンピック・パラリンピックをひかえ、車いすマラソン用の車いすに乗ってみたり、ポッチャを利用者様と一緒にしてみたりしました。障害体験では普段と違う体験をしてみても

う感じたか、どうしてもらえると嬉しいか等を考える機会となったのではないかと思います。

皆さんの優しい気持ちが未来へ繋がっていくことを楽しみにしています。



【福祉相談科 石井 智代】

ほっとひといき

新型の感染症が広がっていると、学校がお休みになってしまうなど、様々なところで大変な状況が起きています。手洗い、うがいなどの感染予防、しっかり行っていきましょうね。



2年前から、同世代から少し年上の、いわゆる学生の時にバンドやるのがブームでした！という方達のバンドで、ボーカルをしています。カバーするのは80年代の洋楽だったり、アイドルの曲だったり、懐かしいけど、よく聴いた曲ばかりで、今どきの曲が少ない（笑）家ではうるさがられていますが…歌っていると、リラックスできる感じです。



趣味らしい趣味のなかった私ですが、この年にして楽しんでいます。

【診療科 廣川 恭子】

おしらせ information

就学情報交換会
日にち：6月27日（土）
（午前は中学校の部、午後は小学校の部）

就学、進学にむけて、「学校ではどんな支援が受けられるの？」「どんなことに気をつけて学校を選べばいいの？」など、お子さんの就学について悩んでいること、困っていることを出し合って、一緒に考えてみませんか？対象は小6の保護者の方、年長児の保護者の方です。



島田療育センターはちおうじ 小児診療



各種 予防接種を行っています。

予約制となりますので、詳しくはお電話でお問い合わせください。

診療内容

こどもがかかりやすい病気（発熱や嘔吐・下痢など）の診察・治療を行っています。

| 診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 9:00~12:00 | ● | ● | ● | ● | ● | | |
| 13:45~14:45 | 予 | 予 | 予 | 乳 | 予 | | |
| 15:00~17:00 | ● | ● | ● | ● | ● | | |

予…予防接種 乳…乳児健診
*土日の他、祝日も休診となります



TEL. 042-634-9008

